岡山県警交通企画課だより（高齢者編）

令和３年
5月30日　現在

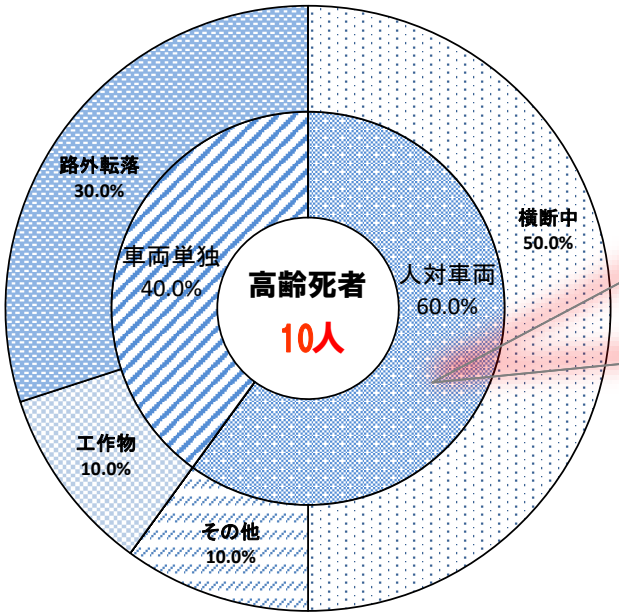
高齢者交通安全５則「まみむめも」を守って事故防止

- **ま**つ（つぎの安全を待つ）
- **み**る（周囲の状況を見る）
- **む**りせず止まる
  （交差点などでは無理せず止まる）
- **め**立つ（夜光反射材を着用して目立つ）
- **も**っと知る
  （自分の身体機能の変化をもっと知る）

本年中の交通事故発生状況　（5月30日　現在）

（暫定値）

高齢者が関係する人身事故は　691　件、うち死亡事故は　10 件発生
（全人身事故の　36.5　％）　（全死亡事故の　47.6　％）



要注意！！

人対車両の事故

６人（夜間　６人）

うち道路横断中･･･５人
（夜間　５人）

＜事故防止のポイント＞
○　薄暮時、夜間の外出時は必ず夜光反射材を着用

全交通事故死者　２１人のうち
高　齢　死　者　１０人　（全死者の 47.6 ％）

雨の日の事故に注意しましょう

○　雨の日は、路面が滑りやすくなり、スリップ事故の危険性が高くなります。路面状況を確認しながら運転し、濡れている路面では急加速や急ブレーキなど、「急」のつく動作は避けましょう。

○　雨の日は交通量が増え、渋滞等による焦りや苛立ちから注意力が低下します。早めの出発を心がけるなど、時間と心にゆとりを持ち、事故防止に努めましょう。

～「ゆずる・とまる・まもる」～